米工 MAKERS

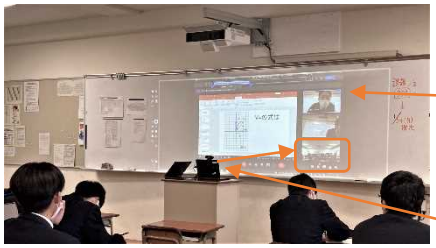
米工通信　第91号
令和４年1月24日
鳥取県立米子工業高等学校

新型コロナウイルスの感染者数が増え、１月１８日から、米子市・境港市・西伯郡に「特別警報」が発令されました。これを受け、西部地区の学校では密にならない学習環境を実現するため、臨時休業としてオンライン授業を行うか、分散登校を行うこととなりました。

学びを続ける分割授業

米工では分散登校でおよそ半数のクラスが登校し、それぞれのクラスが密を避けるため２教室に分かれてオンラインを活用しながら授業を行う分割授業を実施しています。登校日はマチコミメールで先日お知らせしていますので確認してください。

さっそく、教職員もオンライン授業を実施するための機器の扱い方を再確認し、分割授業を実施しました。



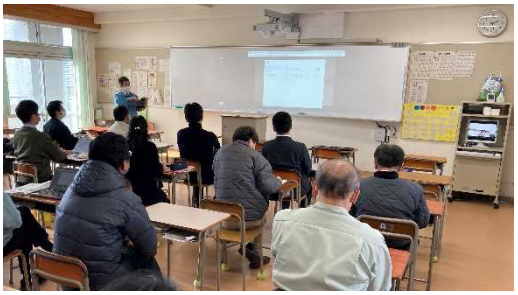
パソコンのカメラで先生の顔を写しています

このパソコンの画面を両教室に投影しています

先生は、もう一方の教室の様子をこのカメラで確認

教室が分かれているため、生徒の演習や理解度を把握するのにそれぞれの先生がいろいろなアプリケーションソフトウェアを試しています。先生方の取組状況の情報が広がり、授業に使えるアプリの種類も増えてきました。しかし、使い方を把握したつもりでも、いざ使ってみると想定外のトラブルがつきものです。先生同士で協力しながら使い方を改善しています。また、生徒の反応から今後の授業の展開方法にヒントを得ることもあります。先生も新しい学びの環境にチャレンジしています。生徒のみなさんも気づいたことがあれば先生に伝えてください。共にコロナに負けず頑張りましょう。

テレビで医師がオミクロン株に対しては特に空気感染を警告されていました。寒い時期ですが、しっかりと換気をしながら授業を受け、感染防止に努めてください。鼻まで隠した正しいマスクの着用や大声を出さないなど、お互いのために意識して生活しましょう。



先生たちの研修風景　　先生も分散して研修しました

家庭内での感染対策

－鳥取県のホームページより抜粋－

家に帰ったら「まずは手洗い」
親しき仲にもマスクあり
タオルは個別で使用しましょう
食べ物や食器の共有を避けましょう
他の家族との部屋を分けましょう

校長　松川明義

米工通信　　第９２号
令和４年１月２６日
鳥取県立米子工業高等学校
JRC（青少年赤十字）部

米工 MAKERS

募金キャンペーンへのご協力ありがとうございました

募金総額
13,049円

本校のJRC(青少年赤十字)部は、昨年１２月２０日から２２日までの３日間、校内で「NHK海外たすけあい」の募金活動を行いました。「NHK海外たすけあい」とは日本赤十字社とNHKが毎年１２月に実施している募金キャンペーンです。国際赤十字創設１２０周年、NHK テレビ放送開始３０周年という記念の年であった 1983 年に始まり、現在まで続いている歴史のあるものです。みなさまからのご寄付は、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人びとを支援する活動に役立てられます。

（詳しくは、日本赤十字社のホームページをご覧ください。→ https://www.jrc.or.jp/lp/kaigai/）

募金活動を実施したのは保護者懇談会期間中で、生徒のみなさんは３限まで授業を受けた後に清掃をしてから下校することになっていたので、活動時間を１１：３０～１２：００までの３０分間と決めて、生徒昇降口で募金箱を持って待っていました。ふだん頻繁に活動をしていないため JRC 部の活動内容はあまり知られていないと思い、事前に募金活動のチラシを教室に掲示してもらいました。その効果もあってか、多くの人が部員の声かけに反応して立ち止まり、募金をしてくれました。その中には、財布から硬貨を何枚か取り出して募金箱に入れてくれる人や、一円玉がぎっしり入った郵便ポスト型の貯金箱を渡してくれる人もいました。募金をしている昇降口までわざわざ来てくださる先生もおられました。

募金は、１日目 4,876 円、２日目 3,631 円、３日目 4,542 円、総額 13,049 円も集まりました！！
1 日 30 分足らずの 3 日間という限られた時間で 1 万円以上も集まったことに、驚きとその何倍もの喜びを味わいました。この場をお借りしまして、ご協力してくださったみなさまにお礼申し上げます。

年が明けて３学期の始業式が行われた１月７日に、日本赤十字社鳥取県支部の職員の方を学校にお迎えして、校長先生のご同席のもと贈呈式を行いました。　また後日、日本赤十字社鳥取県支部長（平井伸治鳥取県知事）からのお礼状も届きました。募金活動や贈呈式の様子は日本赤十字社鳥取県支部のホームページでも紹介されています。（2022 年 1 月 17 日付け）

「米工 MAKERS 22 号」でもお伝えしましたが、日本の青少年赤十字は 2022 年に創設 100 周年を迎えます。米工 JRC 部はこれからも「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標に「気づき」「考え」「実行する」という態度で取り組んでいきます。

JRC(青少年赤十字)部顧問　笹川恭子

米工 MAKERS

米工通信　　第９３号
令和４年１月２８日
鳥取県立米子工業高等学校
３学年団　梶谷　正志

自由登校を有意義に過ごしましょう。

３年生は自由登校になります、いくつかの点に気をつけて有意義に過ごしましょう。

●２月１４日（月）と２８日（月）が登校日になります。

２月１４日（月）は学年末考査の返却と成績の確認を行います、午前中３時間の登校です。２８日は卒業式の予行練習、各種表彰式、同窓会入会式があります、午前中の登校となります。

●２月７日（月）午後と８日（火）は校内立ち入り禁止です。

自由登校中は、学習のために登校することも出来ますが、推薦入試があるので、上記の期間は生徒登校禁止となります。

●健康に留意しよう。

授業が無いからと、不規則な時間を過ごすと、免疫力が低下し、コロナウイルス感染症だけで無く、様々な体調不良を起こします。春からの新生活に備え体調を整えましょう。

●課題・宿題のある企業や学校もあります。

就職が内定した企業で課題が出されることや、入学試験に合格した専門学校、大学で宿題が課されることがよくあります。合格通知をもう一度確認して、後回しにすること無く、この自由登校期間中に終わらせましょう、卒業式までは本校の在学生ですから、自由登校期間中ならば先生方の支援を受けられます。

●進学、就職に備えた準備をしましょう。

入社式、入学式に必要な服装など必要なものをリストアップして余裕を持って準備しましょう。

寮やアパートで単身生活を始める人は、さらに必需品が増えます。買うもの、借りるもの、備え付けのものなど、保護者と相談して無駄のないよう準備しましょう。

就職する人は自動車の免許も必要な会社が多いです、計画的に登校しましょう。

●自分の部屋の掃除をしましょう。

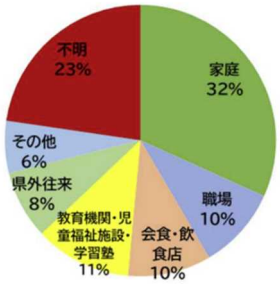
春から実家を出る人はもちろん、心機一転のために今一度５S を実践しましょう。捨てないでおく教科書など、先生の指示を思い出してください。

米工 MAKERS

米工通信　第94号
令和４年1月31日
鳥取県立米子工業高等学校

県西部でオミクロン株の市中感染が急激に拡大しており、米子市と境港市に市中感染急拡大特別警報が発令され、特措法に基づく外出自粛が要請されました。

推定感染経路（場所）



マスク生活を快適に

感染の拡大を抑えるためには不要不急の外出を原則控え、やむを得ず外出する場合はマスクの着用や混雑時間を避けるなど基本的な感染対策を徹底することが求められています。

感染事例の報告を見ると、わずかな時間でもマスクを外して会話をした事例が多くあります。最もマスクを外しやすいのは、リラックスできる家庭ではないでしょうか。県が発表している推定感染経路のデータを見ても家庭での割合が大変目立ちます。改めて家庭での対策の重要性を感じます。

マスクについては、鼻まで覆い、布やウレタン素材よりもフィルター性能の高い不織布マスクの利用を推奨しています。

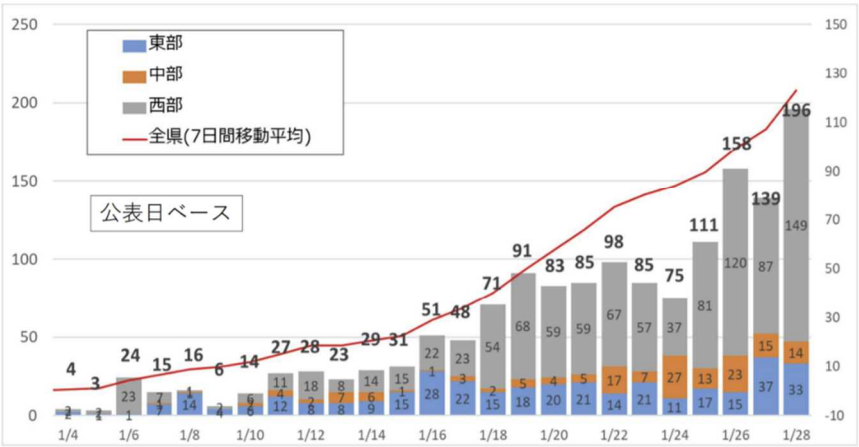
マスクの正しい着用が大切なのはわかるけど、メガネが曇ったり息苦しかったりと、ストレスになっているという方もあると思います。私もメガネをかけていますが、知人からメガネが曇らなくて便利だよと、ノーズパッドという製品を教えてもらいました。左図のように不織布マスクに貼り付けるだけのもので、簡単に装着でき、メガネの曇りもほとんどなくなり大変便利です。さらに、何度も貼り替えて使えます。

実際に使ってみると本来の目的以外にも良い効果がありました。それは、マスクの内側に空間が少しできるので、装着感が緩和され、マスクを付けることに抵抗感を感じないことです。そしてもう一つ、ノーズパッドが鼻に引っかかりマスクがずれないことです。しゃべると口が開き、あごがマスクを下に引っ張り、どんどんマスクがずれてしまうことがあります。個人的にはこの「マスクがずれない」ことが一番ありがたい効果でした。

製品の本来の目的以外の使い方を見つけたとき、ものの見方が変わり、視野が広がったように感じます。視点を変えて見てみると、世の中にはいろいろと便利に活用できるものがありそうです。また、ものづくりにとっては新商品を生み出す大切なポイントですね。

みなさんも便利なグッズを見つけて快適なマスク生活を過ごしましょう。

新規陽性者数推移



校長　松川明義

米工 MAKERS

米工通信　第９５号
令和４年２月２日
鳥取県立米子工業高等学校
理科・Ｃ１担任 勝部展司

２月になりました、１年で最も寒い時期でもあります。コロナもはやっています、みなさんは体調管理はできていますでしょうか？

春がやってきます！

〇暦の上では春になります。

２月１日(火)は旧暦の１月１日で旧正月になります、今年はちょうど１ヶ月遅れになります。また２月７日は旧暦の１月７日になり旧春七草です。鬼滅でありませんが新月になります。

旧暦とは明治５年１２月２日まで使われていた暦のことで、太陰太陽暦で月の満ち欠けを元に決められていて、１日は新月・１５日は満月になるように計算されていました。また季節は１～３月が春、４～６月が夏、７～９月が秋、１０月～１２月が冬で、今のカレンダーでは違和感があると思います。２月４日が立春になりますが、旧暦では旧１月（立春を含む、１月１日と一致するときもある）に含まれ、前日の２月３日が季節を分ける節分になります。よって立春以降を春としました。だから旧１月～３月が春になるわけで、その関係から新暦の１月も新春または初春というようになりました。

ちなみにこの日付は季節と暦のずれを防ぐため、２４節季（１年を２４に分ける）から決定されていて、春分・夏至・秋分・冬至のように毎年同じ日ではありません。また季節を分けるのはほかに立夏・立秋・立冬がありその前日がやはり節分となり、昔は宮中等で邪気払いが行われていました。現在、豆まきとして残っているのは春の節分です。

〇進路を考えて資格を取得しよう。

まもなく１年生が終わります。そろそろ卒業後の進路について考えてください。またせっかく工業高校に入学されている訳なので、資格試験を積極的に受験し資格取得を目指してください。資格を持っていると最終的に就職したときの給料も違ってくることがありますし、資格手当がもらえることもあります。皆さんにはまだぴんと来ないとは思いますが、これが違ってくると退職金や年金の受給額も違ってきます。よく考えてください。

また、職種によっては上級学校で資格を取った方がよい場合もあるので、進学も含めて視野を広く持ちましょう。

たとえば、工業高校や、学校への勤務を考えている人は教員免許状などが必要な場合もありますので大学・短大・大卒の資格の取れる専門学校などに行く必要があります。環境アセスメント系の会社に就職する場合も、やはり理化学・工業系の知識・技能が必要になりますので、工学部や理学部に進学しておいた方がよいでしょう。また、看護系や幼児教育系を考えている人も、現場に出るだけでなく人員養成系にいく場合は教員免許状（高校の看護科の教員など）が必要だったり、大学・短大・専門学校の教職員になる場合もやはり大学卒業程度の知識や資格が必要になります。３年になってからでは遅いのでそろそろしっかりと考えましょう。